



# 大熊町一時立入時放射線モニタリング結果(きなやん宅)

スマヤ法(拭き取り法)による表面汚染モニタリング

(2 / 2)

測定区分	10回目 一時立入	測定日	平成25年8月10日(土)
測定地区	きなやん宅1階/2階	測定時間	11:30~13:30
測定点	表面	測定者	きなやん、マー君
測定器	JER アラサーベイ SV-101	記録作成	xls-hashimoto <span style="float:right">powered by xls-hashimoto</span>

測定高さ: 表面

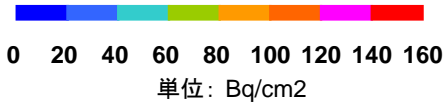
家の中は(推定)40度、茹だるような暑さの中タイベックを着用しての作業となりました。

作業は、およそ2時間、シャツは汗でびしょ濡れ、絞るとコップ2杯ほどの汗が流れました。

家の中の草は量を栄養源としてますます大きくなっていました。

蔓は、延び放題。雨樋をつたわり2階ベランダまで到達。

娘さんの桃は、梅粒ほどの大きさで、前回と変わらぬ大きさでした。

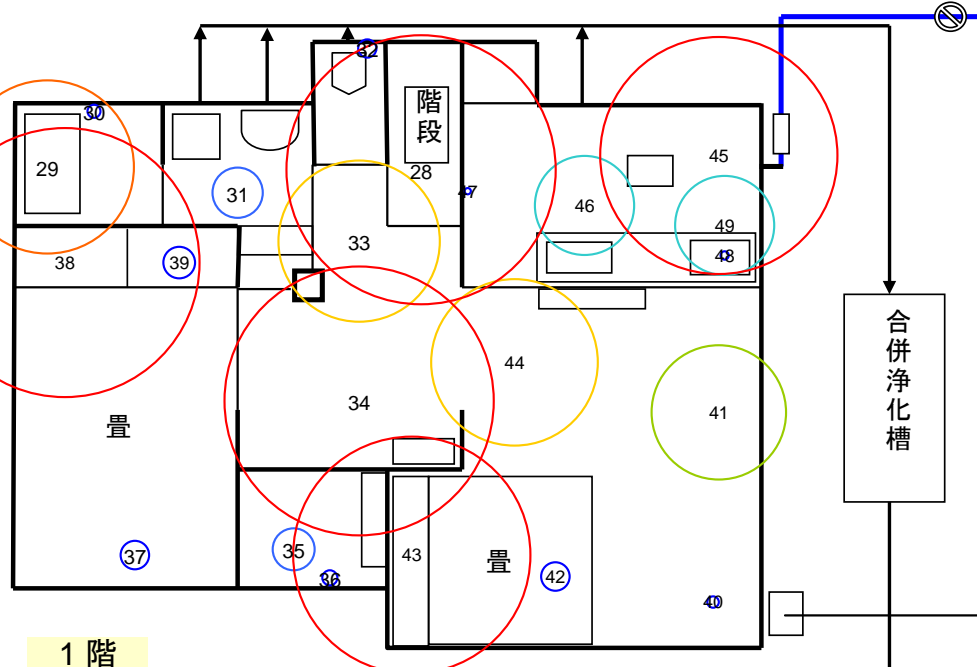
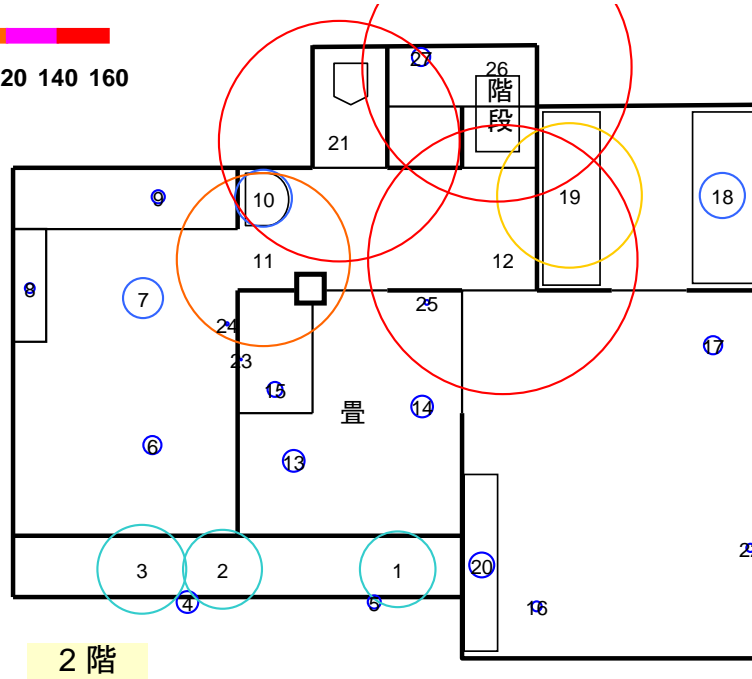


平成24年10月7日の「きなやんの推測」

スマヤ(拭取)採取場所と測定結果から、汚染時の状況を推測しました。

- ①汚染粉塵(放射性プルーム)は、北側から進入した可能性が強い。
- ②汚染は、1階の換気扇、2階の換気扇および玄関ドア隙間から侵入した。
- ③侵入というより、家全体を汚染が包み込んだ。
- ④換気扇は停電で動いていないが、外圧が高い(風により外気が進入)と換気扇口がバタバタと動く。
- ⑤現時点で、放射性ガス(131I)は減衰して検出限界以下となっている。
- ⑥屋根の破損により、屋根に付着した汚染が雨水と一緒に流れた。
- ⑦しかし、雨水は、大きな汚染源ではない。
- ⑧最大の汚染源は、換気扇口から侵入・落下した微小粉塵である。
- ⑨拙宅の換気扇取り付け場所  
1階: 台所、居間、トイレ、脱衣場、お風呂  
2階: 寝室、トイレ
- ⑩1階畳部屋、2階畳部屋、寝室、子供部屋については、ドアが締め切られていたため汚染の侵入を防ぐことができた。

※1階居間・2階寝室とも換気扇が設置されているが、シロッコファンタイプであり、シャッターが設置されていたことにより換気扇からの汚染の侵入はなかった。



合併浄化槽

単位: Gross(cpm), Net(cpm), (Bq/cm<sup>2</sup>) BG(cpm)=268 時定数=10sec ND=134cpm=1Bq/cm<sup>2</sup>

平均	Gross	2,751	x ÷ 3.27	Net	2,233	x ÷ 3.98	Bq/cm <sup>2</sup>	25	x ÷ 4.04		
No	Gross	Net	Bq/cm <sup>2</sup>	No	Gross	Net	Bq/cm <sup>2</sup>	No	Gross	Net	Bq/cm <sup>2</sup>
41	7,500	7,232	80	51				61			
42	1,800	1,532	17	52				62			
43	13,000	12,732	141	53				63			
44	9,200	8,932	99	54				64			
45	13,000	12,732	141	55				65			
46	5,600	5,332	59	56				66			
47	650	382	4	57				67			
48	700	432	5	58				68			
49	5,600	5,332	59	59				69			
50				60				70			

